

日南町第7回臨時R元年11月11日

日南町告示第29号

令和元年第7回日南町議会臨時会を次のとおり招集する。

令和元年11月7日

日南町長 中 村 英 明

記

招集年月日 令和元年11月11日

招集場所 日南町役場庁舎 議場

付議事件

1. 令和元年度日南町一般会計補正予算（第5号）
2. 令和元年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第2号）

○開会日に応招した議員

大岡 樫 近 坪	西 本 田 藤 倉	健 洋 仁 勝	保 君 三 一 志 幸	古 荒 岩 久 山	都 木 崎 代 本	勝 昭 安 芳	人 君 博 男 敏 昭
----------	-----------	---------	-------------	-----------	-----------	---------	-------------

○応招しなかった議員
なし

令和元年 第7回（臨時）日 南 町 議 会 会 議 録（第1日）
令和元年11月11日（月曜日）

議事日程（第1号）

令和元年11月11日 午前9時開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第95号 令和元年度日南町一般会計補正予算（第5号）
- 日程第4 議案第96号 令和元年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第2号）

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 議案第95号 令和元年度日南町一般会計補正予算（第5号）
- 日程第4 議案第96号 令和元年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第2号）

出席議員（10名）

1 番	大 岡	西 本	保 君	2 番	古 荒	都 木	勝	人 君
3 番	樫 近	田 藤	三 君	4 番	岩 久	崎 代	昭	博 男
5 番	坪	倉	一 君	6 番	山	本	安 芳	敏 昭
7 番			志 君	8 番				君
9 番			幸	10 番				君

欠席議員（なし）

欠 員（0名）

事務局出席職員職氏名

局長 _____ 花 倉 幸 江 君 書記 _____ 川 上 知 也 君

説明のため出席した者の職氏名

町長 _____ 中 村 英 明 君 副町長 _____ 丸 山 悟 君

午前9時30分開会

○議長（山本 芳昭君）おはようございます。
ただいまの出席は10名であります。定足数に達していますので、令和元年第7回日南町議会臨時会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。
タブレットの報告書ファイルをお開きください。地方自治法第121条の規定により、本臨時会に出席を求めた者は、1ページの報告書のとおりであります。
本町の監査委員から、令和元年10月17日付をもって、地方自治法第235条の2の規定による例月出納検査の結果について報告がありました。2ページから12ページのとおり報告いたします。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（山本 芳昭君）日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。
会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長において、9番、坪倉勝幸議員、1番、大西保議員の2名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（山本 芳昭君）日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君）御異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日1日と決定いたしました。

○議長（山本 芳昭君）ここで執行部からの発言が求められていますので、これを許します。

中村町長。

○町長（中村 英明君）改めまして、皆さん、おはようございます。
臨時議会の招集で全員の皆さんにお越しいただいたこと、出席していただきましたことにまずお礼を申し上げたいというふうに思います。
暦の上ではもう立冬が過ぎました。本年も余すところあと1カ月半ということでありまして、地域では町の除雪機の配備を進めているところでありまして、これから冬の準備が必要だろうというふうに思っております。
9月の定例議会が終わった後、10月、11月ということ、本当に町内ではいろいろな事業、行事がありまして、町民の皆様、あるいは議員各位にもたくさん御参画いただきまして、お礼を申し上げたいというふうに思っております。60周年の式典もありました。モンゴルの訪問団も受け入れがありました。にちなみ日和、あるいはふる里まつり、一昨日は多里のほうで消防団の秋季演習もありましたし、昨日は菅沢ダム50周年の式典ということであったり、あるいは日本通運さんの日通の森が土日ということでありまして、ことしがちょうど10年目ということでありまして、会社のほうの副社長のほうもお越しいただいて、実際に植栽をしていただいたということでもあります。
私のほうからちょっと本日の開会に当たりまして、2点ほどお願いなり報告をさせていただきたいというふうに思っております。
1点目ですが、9月の定例会の閉会のときにも若干触れましたけれども、いわゆる公立病院・公的病院の関係であります。9月の終わりには私のほうから病院は守りたいという説明をさせていただきましたけれども、その後、いろいろな関係機関も含めて、国への要望等を行ってきたところでありますが、結論的に申し上げますと、やはり町民の皆さんはまだまだ不安というか、お持ちだろうというふうに思っております。改めて私のほうから申し上げますけれども、日南町立の病院につきましても、今後も廃止あるいは再編ということはありませんので、ぜひとも住民の皆さんには安心していただきたいということをお伝えしたいというふうに思っております。
11月の6日だったと思っておりますが、鳥取県の議会議員によります自治体病院を考える会というのがそのときにありまして、その際、厚労省のほうの幹部の方も来られまして、意

日南町第7回臨時R元年11月11日

見交換の場が設定されまして、私自身もそうですし、県内の病院の関係者も多く集まった
会でありまして、その中でいろいろな意見交換がありましたけれども、幹部の方からは、
いんな意見を受けて、あるいは全国的に、今、回っておられるようでありませぬけれ
ども、拙速な公表につきましては反省をしております。いろいろな多面的な悪影
響があつたといふことは認識したということでもあります。
もともとして、鳥取県でいきますと、東・中・西というところのくくりの二次医療圏というところがありまし
て、鳥取県でいきますと、東・中・西というところのくくりの二次医療圏というところがありまし
て、その圏域の中の地域医療構想というところの議論をしてほしいというのが主であ
つたといふふうには聞いておりますけれども、とはいいいながら、今回のあり方というのはや
はり拙速であつたといふふうには私自身も思っておりますし、そういった意見をその場でい
んな皆さん方からの御意見もあつたといふふうには思っております。
改めて申し上げますけれども、日南病院がすぐすぐ廃止するとか再編するということ
はありませぬので、住民の皆さんにはお伝えしておきたいといふふうには思っております。
2点目ですけれども、台風15号あるいは19号等がありまして、東日本地域の本当
に豪雨があつたといふ件であります。行政部門の中で鳥取県を經由しながら日南町の職
員もお二人派遣をしております。派遣先は長野県の飯山市というところでありまして、職
員2人を派遣をしまして地域の災害の対応に支援を行ってきたところでもありますので、御
報告を申し上げますといふふうには思っております。
また、これに係ります義援金の関係ですが、日南町の社会福祉協議会のほうで、窓口と
いうことで、今、受け付けをしているところではありますけれども、なかなか義援金のほ
うが集まってないといふのが状況でありまして、私たちも、職員も含めてですが、義援金
のほうを募っていきたいといふことで、役場の窓口のほうに義援金箱を設置しましたの
で、その中身はまた町の社会福祉協議会を經由して、赤十字のほうから配られるといふ
ふうには思っておりますが、新たに役場の中に、窓口のほうに義援金箱を設置しておりますの
で、ほんの気持ちを、皆さん方の、募っていきたいといふふうには思っておりますので、御
承知おきいただきたいということと、お願いを申し上げますといふふうには思っております
ので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。
本日は、臨時議会ということで、補正予算のほうをお願いしておりますので、御理解い
ただきますように、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお
願いします。

日程第3 議案第95号

○議長（山本 芳昭君）タブレットの議案書ファイル2ページをお開きください。日程第
3、議案第95号、令和元年度日南町一般会計補正予算（第5号）を議題といたします。

本案につき、提案者から提案理由の説明を求めます。

中村町長。

○町長（中村 英明君）議案第95号、令和元年度日南町一般会計補正予算（第5号）と
いうことで、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,150万円を追加し、歳入歳出
予算の総額を歳入歳出それぞれ80億3,046万5,000円とするものであります。

地方債の補正ですけれども、第2表の地方債補正をごらんいただければといふふうには思
います。

主な内容ですけれども、歳入のほうですが、繰越金として450万円、前年度繰越金か
らでありまして、再生可能エネルギー発電事業特別会計への繰り出しを原資とするもので
あります。

もう1点が、町債でありまして、700万円ちょうどです。過疎債のソフトのほうであ
りまして、住宅改修助成事業の財源として充当するものであります。

歳出のほうですが、住宅改修助成事業のほうに700万円、委託料と補助金でありま
す。住宅改修助成事業の決算見込みの増によりまして、不足分の補正をお願いするもので
あります。現在、10月末ですが、工事費総額ベースで7,000万円程度でありまして、
補助額ベースで申し上げますと1,180万円程度で10月末ではあります。住民の皆さ
んからの御要望があるということとありますので、補正をお願いするものであります。

もう1点は、新エネルギー推進事業に450万円ということ、繰出金であります。再
生可能エネルギー発電事業特別会計への繰出金をお願いするものであります。

以上、私からの説明であります。

○議長（山本 芳昭君）木下総務課長。

○総務課長（木下 順久君）失礼いたします。ただいま提案させていただきました一般会
計補正予算（第5号）の議案書の2ページ（3）

日南町第7回臨時R元年11月11日

計補正予算につきまして、若干追加の説明をさせていただきます。
タブレット5ページ目でございます。第2表、地方債の補正でございます。今回、起債の目的といたしまして、過疎地域自立促進特別事業、いわゆる過疎のソフト事業につきまして、限度額を補正をさせていただければというふうに思います。限度額の補正額は、先ほど町長が申しました住宅改修助成事業に係る補正額700万を加えるものでございます。その他、起債の方法等につきましては変わりございませんので、よろしくお願いしたいと思います。

また、あわせまして、次の議案96号にも若干関連いたしますが、一般会計からの繰り出しについても追加の説明をさせていただきたいというふうに思います。

今回、再生可能エネルギー発電事業におきまして、石見小水力発電所の仮復旧の工事費につきまして、予算をお願いするものでございますけれども、これに伴う財源としまして、一般会計のほうから一般財源としての繰り入れをさせていただければというふうに考えております。仮復旧事業ということで、本来でありますと、特会のほうで起債を起こして対応するというのが筋ではございますけれども、仮復旧事業には起債が使えないということがございまして、今回、充てる財源が特会の中にございませぬので、一般財源のほうから繰り入れを行うということで、今回の補正をお願いしておりますのでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（山本 芳昭君）これより本案に対する質疑を許します。

8番、久代安敏議員。

○議員（8番 久代 安敏君）住宅改修助成条例が今年度新たに改正されて、上限が40万円というふうになったわけですが、これに伴って、例えばかつて30万円で助成を受けていられた人が新たに追加で申請された件数というのがわかれば教えていただきたいし、上限額が上がったことによる全体としての評価ですね、この制度についてどう考えていられるかについて質問をいたします。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君）追加で、今までの限度額以上、40万円まで助成できるということ、例えば30万使われた方が残り10万を使うという御質問だと思われましても、その数値としてはまだ拾ってはおりませぬけれども、新規で40万丸々本年度使われた方は5件でした。ただ、先ほど議員言われたように、満額まで使われるという方も結構たくさん出てこられまして、件数はかなりあったと思います。それは30万まで行かなくても、10万、20万使った方が残り20万、30万使われるというケースもありますので、ですのかなかりの件数はあったと思いますが、ちょっとそこまでの数字は拾ってないということをお容赦いただきたいと思っております。

それから、全体としての評価ですけれども、これまでこの事業を行ってきたということ、新規で使われることより先ほど言われたような追加で使われるという方のほうが多かったように思います。というのが、先ほど言いましたように大きな工事でも5件しか満額使われる方がなかったというのは、これまで使われてきた方が多かったということだと思います。それと、あとこの事業が30万円が下限だったものを20万円に下限も下げてもらいますので、使いやすい補助金になったということで、皆さん方も簡易な修繕工事等でも使われるケースもやはりあったと思います。そういうことで、件数的にはかなり伸びておるといって、この事業も町民の方々に浸透してきたのかなというようなイメージは持っております。以上です。

○議長（山本 芳昭君）1番、大西保議員。

○議員（1番 大西 保君）補正予算の質問していいんですね、議長。

○議長（山本 芳昭君）はい。

○議員（1番 大西 保君）いいですね。

そうしますと、再生可能エネルギーの……。

○議長（山本 芳昭君）再生じゃ……。住宅改修。一般会計。

○議員（1番 大西 保君）一般会計。はい。

○議長（山本 芳昭君）2番、古都勝人議員。

○議員（2番 古都 勝人君）関連した質問でございます。かつてから私も情報が入っております、この場でもお話ししたこともあるわけですが、補助の半分が商工会の商品券という構成になっておって、15万とか、多額な商品券をいただくわけですが、高齢の世帯においては、短期間でそれが使えないというような意見も届いております。たしかこの商品券は6カ月有効か何かだったと思っておりますけれども、そこら辺の情報について、執行部のほうは押さえておられますでしょうか。

日南町第7回臨時R元年11月11日

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） 以前、商工会のほうにこの補助金として出す商品券で、どういった使い道、どういった業種の方で使われたのかというような統計をとっていただいたことがございます。その中では、やはり一番多かったのは、単体のお店ですとやはり丸合さん、このお店で約3割、29%の方が使っておられました。その次に多いのが、あとはもう単体のところは少のうございまして、業種として御説明させていただきますけれども、その他小売業、これはいろいろな業者も入っておると思っておりますけれども、ガソリンスタンドであるとか地域の商店、そういったところで使われておるのが全体の44%を占めます。いうことで、それで約7割から8割程度の使用があって、あと残りが建設、建築ということですので、家のほうを別の要件で直された際に、そういったものに使われるというケースがあとの残り26%程度ありました。あと、少ないですが、サービス、飲食等に使われるのも1%程度というような、これが全ての使い道でございましたので、御報告させていただきますたい……。

失礼しました。発行に対する利用率については、その年には全ての方にとりに来ていただいて、換金はその時期時期にちょっとなかなか拾うことができませんので、100%それが使われたかどうかというのはなかなか数値としては出てきませんが、商品券を受け取りには全ての方に来ていただいております。

○議長（山本 芳昭君） よろしいですか。いいですか。

そのほかございますか。

〔質疑なし〕

○議長（山本 芳昭君） 以上で質疑を終結いたします。

これより討論、採決を行います。

日程第3、議案第95号、令和元年度日南町一般会計補正予算（第5号）の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議案第95号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第96号

○議長（山本 芳昭君） タブレット13ページから。日程第4、議案第96号、令和元年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

本案につき、提案者からの提案理由の説明を求めます。

中村町長。

○町長（中村 英明君） 議案第96号、令和元年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第2号）であります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ450万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,000万2,000円とするものであります。

主な内容であります。歳入のほうは、繰入金ということで450万円、一般会計からの繰入金であります。

歳出のほうですが、再生可能エネルギー発電事業ということで450万円であります。工事請負費でありまして、新石見小水力発電所の水路の仮復旧に係ります工事請負費の補正をお願いするものであります。このたびは仮設というか、仮復旧という形の中での施工をして、早期な水の流れをして、収益のほうにつなげていきたいというふうに思っております。あくまでも今回は応急対応ということでありまして、仮設管のほうをφ800の高密度ポリエチレン管を主として設置するものでありまして、そういう内容でありまして、本復旧につきましては、これからさらに、今、設計のほうを出しておりますので、その完成後の中で金額等を確認しながら、これからの対応にしていきたいというふうに思っておりますので、御理解いただければと思います。あくまでも今回につきましては応急対応という形で設置の工事を、仮設工事のほうを行いたいというふうに思いますので、よろしくお願いたします。

○議長（山本 芳昭君） これより本案に対する質疑を行います。

8番、久代安敏議員。

日南町第7回臨時R元年11月11日

○議員（8番 久代 安敏君）まず、今、町長から説明がありましたけども、9月30日、9月議会で補正予算、設計委託料を350万議決してますよね。今、この設計委託業務がどこまで進んでいて、だから今回、緊急に補正対応で導水管の仮復旧をしようとする事になった、その経緯について説明を求めたいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君）今、本復旧に向けての設計を行っておりますけれども、それをもって、今、これまでも御説明しました鳥取県との協議のほうを進めております。今現在のそのお話の中で、新年度、いわゆる4月からは測量設計に入って、あそこのいわゆるロックネット、その部分のやり直しをやりたいということをお願いしております。そうしますと、これから約4カ月以上、間違いなく導水管を復旧させることができないということになりますと、その間のいわゆる損失といいますか、月100万として400万、それかたなら、そこから測量設計ですので、それからまだ時間がかかると思われま。その間とめておくのであれば、このたび仮設管でも通して、そこである程度収益を上げたほうがいいという判断のもとで、このたびの臨時議会での上程を決めたということの経過でございます。

○議長（山本 芳昭君）8番、久代安敏議員。

○議員（8番 久代 安敏君）9月の補正でした350万の設計委託は現段階でどの程度進んでおって、もう1点、新たに導水管全体を設計するということをおっしゃったけども、それは県と町とのいけば負担割合というか、その辺のことも詰めておられますか。その2点をお聞きします。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君）今、この委託の中では本復旧までの委託を発注しておりますので、町としてですね、ですので、そこの今破損した部分、いわゆるロックネットの裏の導水管の復旧の本復旧までの設計をしていただくようにしております。その図面等を見ていただきながら、どちらがどのような負担をしていくのかというのは、これからその図面を示しながら鳥取県との協議に入ることとさせていただきます。その協議に入るにも、やはり鳥取県の測量設計も待たなきゃいけませんし、当然うちのどういう図面ができてくるのかということも見ながらこれからの協議に入っていくということになります。どこまでできておるのかといいますが、今、仮復旧の図面等も描いていただきましたけれども、横断のどのような形にしていくのかというようござったものを、こういった形にしたらどうかというようものを提案を受けながら協議を進めておるという段階でございます。

○議長（山本 芳昭君）1番、大西保議員。

○議員（1番 大西 保君）この推進事業の工事の見積もり、設計業務とかいうことでも、実は先週、議会報告会、また住民との意見交換会の中でもやっぱり町民の皆さんも結構心配しておられますし、どうなっておるんだという質問ありまして、ちょっとあえて言うんですが、3年ほど前に大きな事故が起きて、その後の今後の収支計算はどうなるかということ、前課長が償却年数であるとかいうことをされましたけども、そういったやつを見直しを今されているのか、そのままなのか、これからかかってくる、要するに買電の価格が幾らで、その後で変化していくとか、要するに収入と出ですね、その辺のものはまとめておられますでしょうか、現時点で。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君）たしか久代議員さんだっと思っておりますけど、以前その質問をいただきましたして、答えさせていただきましたけども、まだ1年動いてないので、1年ちょっと収入の状況を見させていただいてからつくらせていただきますという答弁をさせていただいたと思うんですけども、実際に今シミュレーションしているのは、かなりそういった意味では収入についても、それから今回の事故のこともありまして、非常に雑駁な資料にはなっておりますけれども、今現在、本復旧まで含んでないいわゆる収支計画というものは課内では今作成しておりますして、大体のこれぐらいののかなというのは持っておるんですけども、口頭でしかちょっとお答えできませんけれども、大体、今、月に180万から100万程度の収入が見込まれるということで、年間1,800万の収入を見込んで、ただし、それはFITの期間中ですので、2034年までその金額がいただくと仮定しての話になります。それ以降は大体収入のほうも半額になるのかなというような見込みを、まだ本当にここは全くの見込みですので、何とも言えませんけれども、そういった見込みのもとで収支のほうを検討していきますと、2062年ということ、約40年後のいわゆる黒字になるというような今試算をしております。まだまだこれは非常に、さっき言いました収支もそうなんですけども、収入も支出のほうも不確定要素も多いわけござい

日南町第7回臨時R元年11月11日

ますけれども、そのような中では今検討をしておるといこと、試算中であるといことと御承知おきいただけたらと思ます。

○議長（山本 芳昭君）1番、大西保議員。

○議員（1番 大西 保君）町民がそれを知りたかったと思うんですよ。それで、実は、再生可能エネルギーとして、考え方は、それはいいんですけども、通常、民間で経営する場合に、損益分岐点と、限界利益率という、計算します。それによって、その月、年、この事業をやっているかといこととありますが、そのような民間でされるような、業者とは言いませんけども、損益分岐点が幾らなのか、限界利益率が幾らなのかといような算出方法をされたこととございますか。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君）実際にはそこまでの計算はやっていないといのが実情でございます。

○議長（山本 芳昭君）1番、大西保議員。

○議員（1番 大西 保君）民間ではこの2つの手法のもとでその事業はどうかとい判断します。要するに限界利益率がマイナス0.1になれば、ずっとやればやるほど赤字、もしくはプラス0.1であれば、どんどんどんどん売ればいんですか、販売すればどんどんどんどんもうかるとい、それが限界利益率なんです。そういう計算をされて、本当にこの事業がどうかとい判断の一つの一応勉強していく、勉強と言ったら失礼な言い方ですけども、そういう指標の仕方がありますので、年間これぐらいの売り上げはしなければならい、月にこれぐらい売り上げしなければならいといのが一つ目安になりますので、今お話を聞きますと、2034年からは半額になると、買電の価格等ですね、本当これで収支が、これでいくと2062年、40年後ですけども、私が思っているのは、一番最初、久城前課長のときに出されたメンテナンス費用であるとか、それから相当変わってきていると思ます。つい最近でいくと、6月、7月にバッテリーの交換、あれは予定外の費用だったと思うんですね。そういった、もう一度よく見直してどうかといことと、できましたらまた、今すぐでなくてもいいので、そういった指標をちょっと議員のほうに出していただきたいといお願いをしておきたいんですが、いかがでしょう

か。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。
○住民課長（浅田 雅史君）その辺については、御指摘のとおりちょっと勉強しまして、どのような資料が出せるかわかりませんが、またお示したいと思ます。

○議長（山本 芳昭君）6番、岩崎昭男議員。

○議員（6番 岩崎 昭男君）2点ほど質問させていただきます。

まず1点でございます。このたび工事請負といことと、450万円の補正でございます。これは歳出のほうでございます。いわゆる先ほどお話にもありましたように、バッテリーの不良、あるいは今回の水路の工事の復旧といことと、発電の電力、減っておると思ます。当初予算では1,200万円の歳入を見込んでいらっしやったんですが、今回、補正では財源のほうで歳入の減額といのは上がっておりません。これの対応といのはどういふうに考えられているかといこと。

それと、この復旧工事、先ほど説明がありましたように、収入を伴うものだから早急に復旧をするといこととございます。この契約、早急にされるとは思ますが、この契約の始まり、契約をいつされるかといことと、その工期ですね、これについてわかる範囲で御説明をいただきたいと思ます。

○議長（山本 芳昭君）浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君）収入のほうの減額につきましては、これにつきましては、今のところ3月補正を考えております。

それから、工期でございますけれども、標準工期をとりますと、やはりこの金額になり。まずと1カ月、2カ月はかかってはきますけれども、今回の災害復旧といこととございますので、その辺は落札業者とも協議しながら、早期の復旧をお願いするといことと御理解いただきたいといふうに思ます。

○議長（山本 芳昭君）いいですか。

4番、荒木博議員。

○議員（4番 荒木 博君）僕も工期のことを聞きたかったんですが、1カ月か2カ月といこととあります。

それで、仮復旧でありますので、80センチのポリ管を使うといこととですよね。資料の中では流量が0.75毎秒トンといこととです。そうすると、発電量はどのくらいあ

日南町第7回臨時R元年11月11日

って、月の収入はどのくらい確保できるかというのを教えてください。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） やはり水量によっても大きく変わってはきますが、その管を入れることで今の流量を確保できるということをございますので、多い月で先ほど言いまして180万ぐらいは見込めるというふうには思いますが、こればかりはちょっと水量によっても大きく変動してくる部分をございますので、マックスがそのあたりだということ御理解いただきたいと思ひます。

○議長（山本 芳昭君） 4番、荒木博議員。

○議員（4番 荒木 博君） じゃあ通常と同じぐらいの発電ができるということになるわけですね。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） 設計上ではその通常の発電ができる流量を確保したパイプになっております。

○議長（山本 芳昭君） 3番、岡本健三議員。

○議員（3番 岡本 健三君） 関連ですが、結局、今回の仮復旧工事の費用対効果の問題ですよね。450万円、この場合には丸々町の出費になるわけで、過疎債ではないので丸々町の出費になりまして、それで、もし多ければ月に180万円の収入が見込めるということでしたが、それもどうなるかわからないですし、今、現場は非常に危険な状態にあるということ認識されていると思うんですけども、そういったことも考えて、また落石などで、あるいは先日も指摘がありましたけれども、何か物が詰まるというようなことでまた動かなくなるということもあるわけですが、そういうことを総合的に考えて、コンサルの方とも当然相談されていると思ひますけれども、総合的に考えて仮復旧したほうが利益が出るという、そういう御判断なんでしょうか。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） 本復旧につきましては、早くてももう来年度入ってから、4月から測量設計ですので、早くても来年の夏以降というような復旧になるかと思ひます。そこまでとめておくのであれば、この費用をかけてでも仮復旧したほうが良いという判断のもとで、今回の補正予算のほうを上程させていただきました。

あと、現場のほうの危険じゃないか。確かにネットの中にまだひっかかったような石とありますか、石等もあります。ですので、この現場につきましては、以前も議員さんから御指摘があったような、本当にこういうような大きなパイプが入れるのかというような御質問もあったと思ひますが、そのあたりについては、落札業者とも現場のほうをきちっと打ち合わせしながら、そういった事故がないような、もし安全に施工ができるような製品等であれば、それは柔軟に対応しながら復旧のほうに入っていきたいと思ひしております。

○議長（山本 芳昭君） 3番、岡本健三議員。

○議員（3番 岡本 健三君） 一応確認しますけれども、それはコンサルの方が十分やれると、やって、夏まで復旧がかかるのであれば、夏までぐらいは十分に毎月コンスタントに発電できるという、そういう専門的に、当然聞いていると思ひますけれども、一応確認ですが、専門的にそういう判断でやっている。それをお聞きします。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） 製品は、先ほど言いました800のパイプでしたら間違いなく今以上の流量が確保できるということですので、ですので水路を流れる水というものは今までどおりの水が確保できますので、発電量もその金額が確保できるということのもとでの計算でございます。あとは、先ほど言った不確定要素ですね、また石が落ちてくるんじゃないかというところにつきましては、ちょっと何とも言えない部分はありますけれども、今、この復旧をやって発電をして、来年度の本復旧までのつなぎといたひますか、発電を行うことのほうがメリットがあるというような提案も受けましたので、専門的な知識の中のコンサルのほうの意見も踏まえながら、今回上程させていただいたということございます。

○議長（山本 芳昭君） 8番、久代安敏議員。

○議員（8番 久代 安敏君） 私は、現場を一度見させてもらって、仮復旧が妥当な判断だというふうに思ひます。ただし、導水管を、パイプを入れても、どういうやり方をしようが、現場を毎日目視する、そういう請負業者に請負契約をされているわけだけでも、水を流し始めて導水管に水が流れ始めてから、発電機から導水路、取水口まで必ず毎日目視すると。だって杉枝や竹や瓦れきも含めて、あの導水路には常にそういうものが堆積する

日南町第7回臨時R元年11月11日

状態で、かなりの流量が流れれば、それはそれで一定処理、じんかいの処理でできるかもしれないですが、やっぱり基本はね、小水力発電の場合は毎日きっちり目視して点検するということが基本だと思いますけども、改めて今回導水管を布設されるに当たって、その点についての確認の言質をとっておきたいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） 実際、今、導水管の管理ということで、地元業者さんをお願いしておりますけども、そこの中では毎日一応導水管等の見回りというものは入れております。ただ、実はロックネットの裏だけは、あそこは非常に危険というか、落石等もありますし、入りにくい部分でございまして、あそこだけは実は外しておるといいですか、委託の中からではそこは毎日行くというところはちょっとやっておりませんでした。仮復旧で暗渠になったということになれば、そののみ口、いわゆる何か物が詰まるであろうと想定される場所、その部分についてはやはり毎日でも目視をする必要があるかというふうに思っております。

○議長（山本 芳昭君） 8番、久代安敏議員。

○議員（8番 久代 安敏君） 早急にマニュアル、委託業者との契約の中身を、導水管を入れた、埋設したところは、今おっしゃるようにやっぱり詰まる可能性も出てきますので、必ず点検をするような委託契約の中身をきっちり明記していただくように確認をしたいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） こればかりは交渉事といいますか、相手のこともございまして、そのような管理をしてくださいというようなことのお願いはさせていただこうと思っております。

○議長（山本 芳昭君） 8番、久代安敏議員。

○議員（8番 久代 安敏君） 相手のことがあるって、先ほどからいろいろ議論があるけども、やっぱり行政として必ずこれはやっていただかなければ、また二次災害とか、いろんな事故が起こる危険性があるから、絶対これだけはきちっとやってほしいと、そのためにロックネットの内側に暗渠を入れてやられるわけだからね、せつかく450万も使っても、また再発したら大変なことですからね、やっぱりそこは町としてきちっとやってもらいたいし、町長、どうなんですか。ああいう曖昧な答弁じゃだめですよ。

○議長（山本 芳昭君） 中村町長。

○町長（中村 英明君） 小水力発電の中で導水路の管理というのは本当に一番重要な部分だというふうに思っておりますし、また、被害があった場合の影響というのも大きいし、当然、どういんでしょうか、水路の下が県道という状況にありますので、二次的な被害的なところもやはり起こり得る場所にありますので、その辺の管理につきましては、私のほうからも業者との中できっちり委託のお話をさせていただきたいというふうに思っております。

○議長（山本 芳昭君） 1番、大西保議員。

○議員（1番 大西 保君） 1点だけ。今まで事故が起きて復旧とかいろいろあったときに、コンサルというのは、具体的に名前言って申しわけないんですけど、けいせい何とかさんですか、関東の。ちょっとお聞きしたいんですが。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） 今回の仮復旧もですけれども、荒谷建設コンサルタントという、かなりこの辺では手広くやっておられる大きな、大手のほうのコンサルタントでございまして。

○議長（山本 芳昭君） 1番、大西保議員。

○議員（1番 大西 保君） 大きな会社のコンサルタントということですが、実はちょうど1年前に環境の関係の研修会で関金のほうの水路を見に行っていて、皆さんで、そこは日南町の今回の水力発電も関係してたということで、いろんなところの状況を知っておられます。それから、ちょうどその事故が起きたときに、中海テレビが30分間、「日野川物語」で導水路のとをずっとテレビでしてございまして、それを見ておったときに、本当に点検できやすいように、溝口のほうですけど、具体的に言いますと、本当にオーバーフローしたら横にちゃんとまた溝がありますという形もあったわけです。導水管が命なので、血液の血管みたいなものですから、そのコンサルタ自身本当に日南町の石見のこの導水管についてどうなのかと、もしあれだったらそういった、今まで初めて知った落石があったということなので、本当見ていただければ、これはだめだなということ判断できるかなと。逆に大手だから余計、いろんなケースを知っておられるから我々安心

日南町第7回臨時R元年11月11日

して、恐らく町のほうもコンサルタントをしたと思うんですけど、やはりコンサルももう少し見ていただくか、どうあるべきかということ、再点検をしていただくようなことじゃないと、また起きますよと、イタチごっこになって、また起きた、また起きたになりますのでね、ちょっと今聞いてあれですけど、私も1年前に見学に行ったときのコンサルタント、導水路を知ってた会社があったもので、そこは、住民課長、よくお話しされているでしょう。その意見はどうなんですか。

○議長（山本 芳昭君） 浅田住民課長。

○住民課長（浅田 雅史君） その業者さんは京葉プラントだと思いますが、そこはプラントの設計のほうをやっておる、いわゆる京葉ガスグループの会社でございます、どちらかというと水力発電等の経営等のほうをメインにされておるところでございます。ただ、中にはいわゆるダム水路管理者、いわゆる水路の管理をされる職員さんも常駐、鳥取県にさせて、県内の水力発電等の経営をされておりますので、そういった方にはまた意見等も頂戴しながらやっていこうと思います。

○議長（山本 芳昭君） 以上で質疑を終結いたします。

これより討論、採決を行います。

日程第4、議案第96号、令和元年度日南町再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第2号）の討論を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） これより採決を行います。

議案第96号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 御異議なしと認めます。よって、本案は、原案のとおり可決されました。

○議長（山本 芳昭君） お諮りいたします。本臨時会に付議された案件は以上をもって全て議了いたしました。これをもって会議を閉じ、閉会といたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本 芳昭君） 御異議なしと認めます。よって、令和元年第7回日南町議会臨時会の会議を閉じ、閉会といたします。御協力ありがとうございました。

午前10時21分閉会